

# 東常縁

あす

つね

より

井上宗雄  
島津忠夫 編



か

和泉書院

目次

口 絵

はしがき

東常縁と歴代当主

東常縁の生涯と文事

正徹・堯孝と東常縁

——「東野州聞書」を中心に——

東常縁の家集並びに諸著作の考察

附・東家末流著作一覧

古今伝授と東氏

篠脇城跡と東氏館跡庭園

東常縁年譜

島津忠夫……………1

鶴崎裕雄……………1

島津忠夫……………11

稲田利徳……………25

井上宗雄……………59

島津忠夫……………87

土松新逸……………101

井上宗雄……………107

東家寄託文書解題

島津忠夫……………一三三

古今伝授の里・フィールドミュージアム

小瀬洋喜……………一五九

——風土の歴史と、歴史への認識による町づくりに関わって——

感謝の心をこめて

東 胤 駿……………一六七

参考文献索引……………

一七三

あとがき……………

一八三

装幀 森本良成

ISBN4-87088-696-0 C1095 P3605E

定価3605円(本体3500円)



岐阜県郡上郡大和町は、中世の武将東常縁の居城篠脇城址や東氏館跡の発掘により、いま新しく「古今伝授の里」として蘇ろうとしている。(略)たとい講釈の場所は両度とも三島であったとしても、古今集の悉皆伝授がここ妙見宮(明建神社)で行われ、その榊葉のもとで伝授の誓いが立てられたことは古今伝授の性格上、きわめて重要なことといわねばならないであろう。(略)大和町に立派な「古今伝授の里・ワールドミュージアム」が完成したことを機会に、(略)現段階における東常縁のできるだけ史実に忠実な一書を編んでみたいと思つたのである。(略)

(「はしがき」より)